

◆ 測量機器を実際に操作しました!【R4.10.13】

- 業務受注者様にご協力頂き、経験の浅い若手職員を対象に測量について研修会を開催いたしました。
- 研修会では「実測の測量手法」と「点群の測量手法」の概要と手法の違いや現場での使い分け等、実戦での活用についても理解を深めました。

★実測の測量手法 (例)



トータルステーション(TS)

- ★実測のため植生に関わらず精度の確保が可能
- ★人工衛生の受信が難しい場所でも測量が可能
- △1点ずつ測量する必要があり時間がかかる

TS: 基準点測量、地形測量、路線測量など

★点群の測量手法 (例)



UAV

- ★1秒間に数多くの点群測量が可能
- ★地形により従来手法の約1/10の時間で測量が可能
- △植生の繁茂期には精度が低下

UAV: 地形測量、路線測量、三次元点群測量など

◆ 実際に体験した若手職員の声



測量機器に触れて自分で測量することで業務で行っている測量が現場でどのように行われているか理解できた。

実際に測量している様子を見ることで、測量機器による目的や現場による使い分けのイメージを理解できた。



～ひとこと～

卓上では中々イメージできていなかった測量調査の流れや目的を理解することができました。測量成果の確認や積算などで業務に活用していきます。